

# 国際ロータリー第2700地区行橋みやこロータリークラブ



「変化につよく、未来をひらく」  
2024-2025年度 第2700地区  
ガバナー 野崎千尋

『よりそ』  
2024-2025年度 行橋みやこRC  
会長 村上哲二

## 本日のプログラム

- ◆開会「点鐘」
- ◆ロータリーソング「我らの生業」
- ◆お客様・ビジターご紹介
- ◆会長の時間
- ◆幹事報告・委員会報告
- ◆広報公共イメージ委員会
- ◆ニコニコBOX
- ◆閉会「点鐘」

月信 ホームページ



**【職業奉仕 竹林博幸委員長 活動方針】**  
ロータリアンにとって職業奉仕とは何かをしっかりと理解し、事業を通して従業員を含む事業に関する人たち、同業者も含め地域の人たちにロータリーの目的を説明し実践する。自身の事業をロータリアンとして奉仕の理念を持ってしっかりと行えば、意義ある事業として社会に貢献し奉仕することになると信じ責務を果たす。

## 例会予定

- ◆10月20日(日)ロータリー奉仕デー
- ◆10月23日(水)社会奉仕委員会(20日へ)
- ◆10月31日(水)休会
- ◆11月6日(水)長期計画委員会
- ◆11月13日(水)ロータリー財団委員会
- ◆11月20日(水)青少年育成委員会

## 出席報告

会員数:55名 メークアップ:x名  
欠席者:21名 出席率61.81%

お客様:

## 10月のお誕生日

浅倉隆浩R(3日)・田渕哲朗R(16日)  
大鶴修二郎R(19日)・金澤隆R(21日)  
・ 米原ミサコ様

## 【会長の時間】

本日は、ガバナー公式訪問という事で、野崎ガバナーと工藤ガバナー補佐、そして地区副幹事の松本様、小玉様にお越しいただきました。誠にありがとうございます。また、今回の合同公式訪問では行橋RC様がホストクラブという事で、打ち合わせや準備をしてくださいました。園部会長と、行橋RCの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。  
さて、行橋RCと行橋みやこRCは同じ地域にありますが、この様に一緒に例会をすることは、ほとんど在りません。しかし色々な会合などで皆さんとお会いした時、よく話に出るのは「一緒に例会したり何か奉仕事業をしたら、楽しいやろうね



～」という話です。実際には、中々実現するのは難しいですが、その様な思いのある会員も両クラブにはいます。二つのクラブが共に行動すれば、この地域にさらに良い事が出来ると思います。野崎ガバナーの「変化に強く、未来をひらく」というメッセージにも答えられるのではないかでしょうか。ただ、色々な考えがあると思います。よろしければ皆様の考えをアドバイスとして、お聞かせいただけないでしょうか。今後の参考にさせていただきたいと思います。よろしくお願ひします。ご清聴ありがとうございました。



- 創立…1984年4月3日
- 例会日…水曜日(12:30~13:30)
- 例会場…みやこホテル Tel 0930-23-1800 行橋市宮市町9-18
- 事務局…〒824-0005 行橋市中央1丁目9-50(行橋商工会議所 別館1階)  
TEL0930-25-0655 FAX0930-25-5700 E-mail:info@ym-rotary.club

- 会長…村上哲二
- 副会長…石田之茂
- 幹事…松井明男
- 会報雑誌委員長…村上歩己
- URL: <https://ym-rotary.club>

## 【野崎千尋ガバナー講話】



2024-25年度 公式訪問

行橋ロータリークラブ 様  
行橋みやこロータリークラブ様

2024年10月8日(火)

国際ロータリー第2700地区  
ガバナー 野崎千尋(小郡RC)



### ご歓迎に感謝致します

1982-83年度向笠廣次RI会長(中津RC)のDNAを継承する第1グループ  
1960年豊前RC(中津 向笠氏・小倉)⇒豊前西RC(七條ガバナー:雲仙RC)  
1963年行橋RC(中津・特別代表 向笠氏)→田川RC(向笠ガバナー)



苅田RC 行橋みやこRC 行橋コスマスRSC(2022年)

### 60年に亘り地域の宝として歴史を刻む行橋RC

創立60周年記念事業：少年少女野球教室 行橋駅大型TVモニターなど  
青少年交換：春日御琴さん Aidan William Wilcox(エイダン)君 87名  
友好クラブ：惠庭RC  
地区補助金：海洋スポーツを通じての環境教育・絵画清掃 1,429ドル  
インタークト：行橋高等学校 (12名)

2023-24年度(林鉄典会長) ロータリー賞 受賞  
ロータリー財団：PHF 12名 PHS 宮田将英 様+2名 PPS 4名+5名  
米山記念奨学会：米山封筒による1,000円寄附の提唱

### ご歓迎に感謝致します

自慢会員：夕田宜功 様 ロータリー歴47年

園部秀樹会長テーマ～一期一会 日々の出会いと経験を大切に～  
週に一回の例会で、お会いする会員の皆様と笑顔でご挨拶をし、奉仕活動も楽しく協力し  
合い、居心地のいいクラブを目指して、1回1回の例会を大切にしたい  
⇒ ①クラブの活性化 ②会員基盤の強化 ③会員増強

### 行橋みやこRCは小郡RCと類似点の多いクラブです

創立 1984年(1981年) 会員数 54名(50名+RSC13名) 女性会員 3名(2名)  
チャーターメンバー 2名(3名) 財団の友 37名(50名)

創立40周年記念事業：畔を育み築くコンサート・周防灘野球大会・教室など

姉妹クラブ：台北朝陽扶輪社

2023-24年度(緒方正憲会長) ロータリー賞受賞

地区補助金：スポーツ大会を通じての中学生の健全育成1,295ドル

みやこプロバスクラブ 1999年提唱設立

PHF 28名 PHS 藤井賢治 様 村上哲二 様 PPS 17名

自慢会員：米原宏様 46年皆勤 藤井賢治様 メジャードナー会員

### 多大なご貢献に敬意を表します

村上哲二会長の方針 ～みんなで地域と世界に「よりそう」クラブへ～  
ともに変化し不安を和らげれば、我々の親睦や奉仕もより良いものになる  
IMを工藤ガバナー補佐のご指導の下、みんなで成功させましょう

### 行橋RC輩出の地区役職者・委員

末松孝一 様 ラーニング副委員長・危機管理委員 次年度ガバナー補佐  
豊瀬 敦 様 危機管理委員長・ラーニング委員・インタークト委員  
福島小太郎様 國際奉仕副委員長 志村俊郎 様 危機管理副委員長  
中川珠恵 様 國際青少年交換委員 林 錠典 様 会員増強委員

### 行橋みやこRC輩出の地区役職者・委員

工藤茂美 様 第1グループガバナー補佐・職業奉仕委員  
松井明男 様 社会奉仕副委員長 村上哲二 様 ロータリー財團副委員長  
松山貞徳 様 ロータリー情報委員 石田之茂 様 米山記念奨学会委員  
二十二豊 様 DX推進委員 藤原妃呂 様 ロータリー財團委員

### 本日、皆様へお伝えしたい事



1. ステファニーA.アーチック RI会長エレクトのテーマ  
*= The Magic of Rotary「ロータリーのマジック」=*
2. RI会長のテーマ講演から導かれる地区メッセージ  
*=変化につよく、未来をひらく=*
3. シカゴロータリー創設から120年  
*=ロータリーの歴史に学び、未来をひらく=*  
～日本人2人目のRI会長 向笠廣次 氏～
4. 第2700地区の自指す姿と優先事項

2024年 国際協議会 1月7日～11日 フロリダ州



## 2024-25年度 テーマ講演 ステファニーA.アーチック 氏



1. ポリオ根絶を強調
2. 繼続と変化のバランス
3. ロータリー行動計画の重要性
4. DEI(Diversity·Equity·Inclusion) + Belongingの重要性  
多様性 公正性 包摂性・受容+帰属意識
5. 平和構築は最優先事項の一つ
6. 平和構築の手段に「四つのテスト」を活かす
7. 「ロータリーのマジック」のエピソード

### RI会長イニシアチブ



1. 最優先課題は会員増強を図る行動計画を推進すること  
*\* 3-Year Rolling Goals /Plan( 3年間の目標と計画 )*
2. ロータリーのマジック ～クラブでの体験を魅力的なものとする～  
*\* ロータリーの行動計画、ロータリーの強さを維持するため*
3. 積極的な平和を通じて分断された世界を癒やすこと  
*\* 4つのテストの重要性・ピースポール(平和の塔)プロジェクトの推進*
4. 繼続性 ～前任者や後任者と協力すること～  
*\* クラブが取り組んで来たことやクラブに根付いていることに目を向ける*

### 日本人2人目のRI会長 向笠廣次 氏



世界に先駆けて電気ショック療法を開発・発表し、抗酒藻シアナマイドを創案して、多くの人々を救った精神科医であり、日本人2人目のRI会長を務めた、「苦楽吉祥」のひと。



出典:ロータリー日本100年史「100人」

第2720地区

Mukasa Hiroji

1911年生 1992年没

1957入会【精神病院】

会長年度 1962-63 G年度 1967-68

RI理事年度 1978-80

RI会長年度 1982-83

### 日本人2人目のRI会長 向笠廣次 氏



### 日本人2人目のRI会長として、世界44か国を公式訪問

向笠廣次氏は、1957年4月に中津RCに入会し、1962年に会長に就任した。青少年奉仕に高い関心を持ち、中津ドン・ボスコ学園を訪問しては、恵まれない子ども達の一曰父親になって遊園地に連れて行くなど、熱心に奉仕活動に取り組んだ。1967年、第370地区ガバナーに選出。その後、1970年、RI広報諮問委員。1974年在日本ロータリー財団推進諮問委員、1977年RIアジア地域諮問委員、1978年RI理事と、要職を歴任した。1982年5月、ボカ・ラートンで開催された国際協議会で、RI会長エレクトとして行った「人類は共通の先祖から発生しており、その意味では皆さんは全員いとこと一緒なのです。」

### 日本人2人目のRI会長 向笠廣次 氏



さあ、立ち上がって周囲のいとこ達と心からの握手をし「マイカズン」と声をかけましょう」という講演は、出席者全員の心をつかみ、会場を歓喜の渦に巻き込んだ。翌6月にダラスで開催されたロータリー国際大会でRI会長に選出され、7月に就任。日本人2人目となる快挙であった。

RI会長となった向笠氏は、R1本部のあるアメリカ・エバンストンに居住し、10か月間にわたって世界44か国を公式訪問した。インド、スリランカ、アルゼンチンなど、歴代会長が訪れたことのない不便な地域にも積極的に足を運び、その旅程は15万キロメートルに及んだ。

### 日本人2人目のRI会長 向笠廣次 氏



### 「目に見えぬ病を治す」と決意、精神科医となり、功績を残す

向笠氏は、1911年に久留米市に生まれた。幼少期を軍医である父親の転勤に伴って小倉、ソウル、水戸、福島で過ごし、1933年4月、九州帝国大学医学部に入学した。この間、1930年に父親を亡くし、翌1931年には、九州帝国大学医学部の試験に合格するも、胸部レントゲンに異常が見つかって2年間の療養を余儀なくされている。大学在学中はヨット部を創設して練習に打ち込んだ。合宿中に急性虫垂炎になった仲間をヨットに乗せ、博多湾を横切って病院へ連れて行ったという武勇伝が残る。その一方で、結核性胸膜炎で1年間休学する苦難も味わった。

## 日本人2人目のRI会長 向笠廣次 氏



1938年に九州帝国大学医学部を卒業すると、「目に見えぬ心の病を治す」との志を胸に精神病学教室に入局。研究活動に邁進し、翌1939年に安河内五郎氏と共同で「電気痙攣療法」を開発・発表した。これは、世界初の電気ショック療法であり、当時乏しかった精神分裂病の治療に光明を与える世界的先駆であった。1943年、別府の朝見病院に勤務。その後、軍部の命令により兵役に服し、小倉陸軍病院に勤務中に終戦を迎えた。戦後は朝見病院に復帰した向笠氏だったが、物資不足と物価高に苛まれ、中津市殿町の平田医院で週2~3回アルバイトを強いられた。

## 日本人2人目のRI会長 向笠廣次 氏



こうした状況に、大学に戻り学者になるべきか、開業医として生きるべきか迷った向笠氏だったが、中津の人々の役に立つ医者になろうと意を決し。1946年に平田医院内に精神科を開業。翌1947年、中津市殿町にベッド数20床の向笠精神科医院を創業して、独学で看護婦免許を取得した喜代子夫人と共に昼夜を問わず診療に従事した。また、九州大学や久留米大学で教鞭を取るとともに研究活動も続け、1962年、実弟向笠寛氏と共に草案した嫌酒薬「シアナマイド」を発表。アルコール依存症の治療に有効な薬物として、現在多くのアルコール依存症患者を救い続けている。

## 日本人2人目のRI会長 向笠廣次 氏



### 栄光と苦難に満ちた人生

地元中津の人々には、医師としてはもちろん、キノコ博士としても慕われた。毎年秋には、向笠氏に鑑定してもらおうと採ってきたキノコを持参する人が後を絶たず、また自身も忙しい合間を縫ってはキノコ狩りに出かけたという。

向笠氏の人生は、栄光の一一方、苦難も多かった。RI会長に就任した際も関節リウマチに罹患しており、炎症反応が強まり骨が破壊されつつあるなか、満身創痍で会長職を遂行。退任後も3年間にわたり世界を飛び回り、活躍を続けた。まさに**苦楽吉祥の人生**であった。

### ロータリー行動計画



## 第2700地区のめざす姿 =変化につよく、未来をひらく=



- 一人ひとりの心にあるロータリーの灯を大きく永く
- 出会い楽しむ 例会楽しむ 奉仕楽しむ  
～入りて学び、出でて奉仕せよ～
- ロータリーを強く大きく 良樹細根 大樹深根  
～ひろがるロータリー、つながる話・和・環～をめざす
- 手を取り合って変化を作り出そう  
～不易流行⇒変わらないことと変わるべき事⇒継続と変化
- 世界で、地域で良いことをしよう

## 第2700地区 10の優先事項 より大きなインパクトをもたらす



### 1. ロータリー財団の支援

年次基金寄附 一人当たり150ドル  
ボリオプラス寄附 一人当たり 30ドル

ポール・ハリス・ソサエティー(PHS)115人+15人= 130人  
ボリオ・プラス・ソサエティー(PPS)172人+30人= 202人

### 2. ロータリー米山記念奨学会への寄附

個人平均寄付額 17,000円  
特別寄付者割合 36% →吉田年度45% ⇒55%目標  
国際親善と世界平和に貢献する外国人留学生を支援

## 第2700地区 10の優先事項 より大きなインパクトをもたらす



### 3. グループ単位のロータリー奉仕デー

ガバナー補佐、広報・公共イメージ委員会が協力して  
インタークト・ローターアクト等へ呼びかけて実施  
(7グループ×10万円=70万円)  
プロジェクト案が定まらない場合は、エンドポリオ関連  
イベントを推奨

### 障がい者福祉・スポーツ分野の講演・卓話

道下美里選手(福岡中央エンジョイ衛星クラブ)  
パリパラリンピック 銅メダル  
リオデジャネイロ 銀メダル 東京 金メダル

## 第2700地区 10の優先事項 参加者の基盤を広げる



### 4. 魅力あるクラブづくりによる退会防止と会員増強

- クラブ協議会、クラブフォーラムによるコミュニケーション
- オープン例会の開催、新会員候補者に扉を開く  
クラブへの補助金を継続(30クラブ×3万円=90万円)
- 「新設クラブ日本一基金(300万円)」を活用して1クラブを新設し、継続して2つの衛星クラブと1つの大学基盤のローターアクトクラブを新設⇒4クラブ拡大
- 年度平均3,200人を確保し、年度中に3,300人を達成

## 第2700地区 10の優先事項 参加者の基盤を広げる



### 5. 「豊かな自然プロジェクト・10」の継続

ロータリーのすそ野を広げるために、参加者に20%の会員以外の市民参加を要件に加える  
(10プロジェクト×10万円=100万円)  
9月末現在の申請状況 申請10クラブ

## 第2700地区 10の優先事項 参加者の積極的なかかわりを促す



### 6. 地区内3カ所での新会員研修・交流会

- ロータリー情報委員会と連携して開催(3カ所×30万円=90万円)
  - 9月28日(土) 16:00~19:15 博多芙蓉 第4・5G
  - 10月12日(土) 16:00~19:15 ホテルクラウンパレス小倉 第1・2・3G
  - 10月19日(土) 16:00~19:15 ホテルニュープラザ久留米 第6・7G

### 7. ローターアクトクラブと衛星クラブの活性化支援

- ローターアクト⇒PEPSIへ地区代表、地区研修・協議会と財団セミナーへRAC代表出席を要請、ガバナー公式訪問(11月10日)
- 衛星クラブ⇒活動交流会(議長・幹事)を2回開催  
クラブ運営支援  
委員会が企画・運営は支援  
1回目は地区研修・協議会の分科会、2回目は11月26日

## 第2700地区 10の優先事項 参加者の積極的なかかわりを促す



### 8. シカゴRC誕生から120年の記念事業を実施

- ガバナー補佐、ロータリー情報委員会と連携  
7カ所のIMでの記念講演  
テーマ:「ロータリーの歴史に学び、未来をひらく」
- 第2740地区大村RC所有のポール・ハリス記念植樹の月桂樹  
5世の贈呈式を地区大会で行い、植樹と記念碑設置を行う  
**福岡地区 未永文化センター 玄関右側のスペース**  
**北九州地区 旧松本邸・西日本工業俱楽部 庭園**  
**筑後地区 小郡市役所 東町公園**

## 第2700地区 10の優先事項 適応力を高める



### 9. My-Rotaryの登録と活用の推進及びクラブ優秀賞

(前年度はロータリー賞)の受賞  
DX推進委員会と連携してMy-Rotaryの登録率を高めクラブセントラルを活用して全クラブが受賞できるよう継続して取り組む

### 10. 継続性のある中・長期的な活動の創造

国際ロータリーの国際ロータリーの3-Year Rolling Goals /Planと2025年7月スタートの地区新5ヶ年(3ヶ年)計画を整合及び統合して策定

小都市での定時制高校の副校長、教頭研修会に招かれて出掛けた。駅に村井さんという高校教員の35、6歳の男性がお迎えてくれた。タクシーで会場のホテルで降りると村井さんは、料金の領収書を受け取ったあと何枚かの硬貨を運転手さんに渡し「ご苦労さま。少しですが」と言った。

講演終了後も村井さんとぼくは懇親会場へ行くためタクシーに乗った。村井さんが行き先を言うと運転手さんは返事をせず、急発進みたいに車を出した。5分で懇親会場の料理店へ着いた。近距離なので運転手さんは機嫌が悪かったのかもしれない、とぼくは思った。

「理念と経営」令和3年3月号 小檜山博氏  
「心づけ」

村井さんはまた料金とは別に、運転手さんにいくらかの硬貨を渡していた。タクシーから降りて歩きながら、ぼくはつい「心づけ、みんなにするんですね」と言った。村井さんは黙っていた。

そして懇親会が始まって間もなく、隣に座った村井さんが肩を寄せてきて「タクシーのことですけどね」と言った。農家の三男だった村井さんは働きながら定時制高校へ通ったが、そこで昼間働きつつ学ぶ生徒の目の色を変えた意気込みに圧倒され、自分は定時制高校の教員になろうと思ったそうだ。

「理念と経営」令和3年3月号 小檜山博氏  
「心づけ」

大学入試センター試験の日、村井さんは会場へ行くバスを乗り間違え、会場から5キロも離れた場所へ降りてしまったという。通行人にそれを聞き、村井さんは走り出した。試験開始まで20分しかなかった。

そのとき後ろからきたタクシーが横へ止まり、「センター試験か?」と言った。うなずくと「乗れ!」と叫んだ。村井さんが乗ると「バスの行き先、間違いやすいようだな」と言って走り出した。村井さんはすぐ「じつはおカネないんです、あとでいいですか?」と聞いた。手元には帰りのバス代と地下鉄代しか残ってなかつた。

「理念と経営」令和3年3月号 小檜山博氏  
「心づけ」

すると運転手さんは「そんなこと気にすんな」と言った。会場へ着くと運転手さんは「料金、俺からのプレゼントだ、がんばれよ」と言って走り去ってしまったという。

村井さんはタクシー会社も運転手さんの名前も覚えていたので、3日後に電話をした。電話に出た配車係の人が、近くにいるその名前の運転手さんに聞いてくれた。するとその運転手さんは「身に覚えはない」と言ったというのだった。話し終えて村井さんは微笑み、「私、人生観が変わりました」と言った。

## 第2700地区は

=変化につよく、未来をひらく=

世界一の大河でさえ

その源泉はひそやかであり

小さな泉の湧き水や雪解け水に始まる  
このわずかな水の流れが野山を下るうちに  
触れるものすべてに新たな生命力を与える

そのうちに小川がいくつも合流して  
一つの河になりより確かに力強い流れとなる

(奉仕の世紀「国際ロータリー物語」序文より)



## ニコニコBOX

村上哲二R:野崎ガバナー、公式訪問ありがとうございました。

松井明男R:野崎ガバナー、講話ありがとうございました。

村上歩己R:野崎ガバナー、講話ありがとうございました。

金澤 隆R:ガバナー公式訪問、大変お疲れ様でした。

西村 勝R:野崎ガバナー公式訪問ありがとうございました。2025, 2, 9(日)第一グループIM よろしくお願ひします。

緒方正憲R:野崎ガバナー、公式訪問ありがとうございました。

工藤茂美R:本日の公式訪問よろしくお願ひします。  
藤原妃呂R:野崎ガバナー、すばらしいお話を聞かせていただき感謝いたします。

二十二豊R:野崎ガバナー、公式訪問ありがとうございました。

石田之茂R:野崎ガバナー、公式訪問お疲れ様でした。

秋山高広R:野崎ガバナー、公式訪問お疲れ様でした。

安永結実R:野崎ガバナー、公式訪問ありがとうございました。

田中聰樹R:ガバナー公式訪問の例会、色々と大変だったと思います。村上会長お疲れ様でした。

有門信芳R:野崎ガバナー、公式訪問お疲れ様でした。

白木力三R:野崎ガバナー。ありがとうございました。

## 野崎千尋ガバナー

行橋ロータリークラブの皆様、行橋みやこロータリークラブの皆様、本日は私の公式訪問を丁重にお迎え頂き、ありがとうございました。皆様の歓迎に対し、心より感謝を申し上げます。

私はこの1年、第2700地区奉仕のために時間を持げる決意です。

シカゴロータリークラブ創立120周年の年度に、ロータリーの車輪をもう一つ回転させようではありませんか。

貴クラブのご発展と皆様のご健勝を祈念致します。

ニコニコBOX  
10月2日の合計26, 500円  
累計 円

## 近隣R・Cへのメークアップのご案内

月曜日	・小倉中央R.C	「リーガロイヤルホテル小倉」
火曜日	・行橋 R.C	「みやこホテル」
火曜日	・小倉南R.C	「リーガロイヤルホテル小倉」
水曜日	・田川 R.C	「料亭あおぎり」
水曜日	・小倉東R.C	「ステーションホテル小倉」
木曜日	・豊前 R.C	「ニューいすみ」
木曜日	・苅田 R.C	「豊前海水産会館」
金曜日	・小倉 R.C	「リーガロイヤルホテル小倉」
金曜日	・豊前西 R.C	「築上町リサイクルプラザ」
土曜日	・福岡城東 R.C	「ホテル日航福岡」